

平成 30 年 2 月 23 日

芦屋市企画部市民参画課
課長 山田 弥生 様

(あしや市民活動センター指定管理者)
特定非営利活動法人あしや NPO センター
事務局長 橋野 浩美

実施報告書

- 1 事業名：ボランティアの受け入れ方講座
- 2 日 時：平成 30 年 2 月 22 日（木）14：00～16：00
- 3 担 当：奈良
- 4 参加者：6 名
- 5 目 的：ボランティアをどのように受け入れられれば、豊かな施設・組織になるのか考える。ボランティア受け入れの具体的な手順やポイントを確認し、モデル事例や参加者の事例を検討し、コーディネーションの肝を学ぶ。
- 6 対 象：現在ボランティアを受け入れている、またはこれからボランティアを受け入れようとする施設や組織の担当者など
- 7 内 容：ボランティアマネジメントの基本を確認、ボランティアプログラムの事例検討、ボランティア受け入れの状況について紹介など（参加者から）
 - ①ボランティアが参加する意味
 - ②ボランティアマネジメントのポイント
 - ③ボランティア受け入れの具体的な手順（流れ）
 - ④ボランティア受け入れの事例検討
- 8 評価：
 - 1) アンケート結果（回収 6 件）
 - ①講座の内容
よく理解できた 5 名 だいたい理解できた 1 名 あまり理解できなかった 0 名
 - ②講座の時間
ちょうどよい 6 名 もっと短い方がよい 0 名 もっと長い方がよい 0 名
 - ③ボランティアの受け入れについて知りたいこと（自由記述）
 - ・今回いただいたフォーマットを参考に、色々なことを整理していきたいと思います。その過程で、悩んだ時は相談させてください。
 - ・具体的にボランティア団体が知りたい。
 - ・アンケート作り、また相談に乗ってください。感謝状もどうしたものか。
 - ④本センターに期待したい支援や要望
 - ・毎月定期的に来てくださるボランティア（音楽や歌）などをご紹介いただけたらと思います。
 - ・タイムリーなセミナー。ありがとうございました。
 - 2) 担当者振り返り
 - ・昨年度の基礎的な事項に加え、今回は事例を中心に検討する形で進めた。事例検討にもう少し時間を取れたらよいが時間的に非常にタイトになる。忙しい施設職員の方にとって 2 時間は限度のようなので短時間でまとめ、実践の場で生かせるように考えている。

- ・芦屋市内だけでなく、伊丹市や神戸市からも参加があった。阪神エリアでこの切り口で学ぶ場が少ないのではと思われる。
- ・施設担当者の直近の問題はレクリエーションのボランティア（単発の）が多く目立つ。全体対象者の共通項になるのは致し方ないが個別的なニーズに対応する視点も取り組んでよいのではないかと感じた。
- ・リスクへの警戒感が強く、積極的になりにくい要素もあるようだ。ボランティアの意義について理解を進めていきながら、成功事例を共有するなど、少しずつ組織内での認識を高めいけるよう担当者に働きかけたい。
- ・今後は、個別に相談に乗る形でフォローする。
- ・次年度も、構成、内容を見直しながら、講座を開催したい。

【講座の様子】



以上